



果樹の可能性を 拓く革新者

齋藤園

齋藤 靖之さん

齋藤園は、ナシやブドウ、モモなどを栽培し、収穫した新鮮な果物を直売所や道の駅で販売している果樹園です。時代の変化に対応するため、新しい栽培技術にも挑戦し、大地の恵みをお客様に届けることに情熱を注いでいます。また、^{せんでい}剪定した枝を肥料として再利用するなど、環境に配慮した取り組みも行っています。

——どんな仕事をしていますか

メインで栽培しているナシは、約15品種を扱っています。冬は木の剪定、春は受粉、夏は小さい実を摘む作業、そして秋は収穫と販売を行います。季節ごとに忙しさは異なりますが、自分のペースで仕事ができる点は魅力的だと思います。

齋藤園

所在地／旭市琴田3004

電話番号／62-1091

栽培では、ナシが健康に育つように工夫しています。特に肥料の管理は味に直結するため、量や種類を慎重に調整しています。さらに、よりおいしい果物を作るために情報を常に収集したり、農家が集まる勉強会にも参加したりして知識を深めています。

——仕事のやりがいは

自分で食べてみて満足できる物を作れたときや、糖度計で良い数値が出たときには達成感があります。また、毎年買いに来てくれるお客様の存在が、やりがいになっています。

——今後の抱負は

食感、味、香りの全てが高品質の果物を作れるように、知識を積み重ね、作業の効率化にも取り組んでいきたいです。失敗を恐れず、常に新しいことにチャレンジしながら、事業の拡大を目指します。



ナシにフルーツキャップを付ける



ナシの生育状況を確認